

立ち読み版

一度は破れたプロ棋士への夢を35歳で実現  
勝負師が語るプレッシャーの乗り越え方



Interview

日本将棋連盟 プロ棋士 六段

せがわ

しょうじ

瀬川 晶司 さん

1970年、神奈川県生まれ。日本将棋連盟棋士六段。中学3年生でプロ棋士の養成機関「奨励会」に入会するも、26歳の年齢制限により退会。その後、大学進学を経て、NECの関連会社に就職、システムエンジニアとして働きながらアマチュア強豪として活躍する。プロ棋士に対して7割を超える勝率を挙げると、プロ入りを希望する嘆願書を提出し、周囲の協力も後押しにプロ編入試験を実現させる。2005年、3勝2敗の成績でプロ編入試験に合格、奨励会退会者として初めてプロ棋士となる。2006年に自身の半生を綴った自著『泣き虫しよったんの奇跡』（講談社）を出版、2018年には映画化される。

続きは雑誌で

【取材・文】 筑間 彰 中小企業診断士

【写真】 石田 紀彦